



*Creation
&
Innovation*

第57期 中間事業報告書

平成16年4月1日から平成16年9月30日まで

証券コード：2922

● トップメッセージ ●



代表取締役社長兼CEO・COO

株主の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当社事業に格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社グループは経営理念のもと、事業の継続性と成長性を確保するため、「改革」を最重要課題として掲げ、「すべては顧客満足のために」を念頭に、時代のトレンドをしっかりと見据え、お客様をはじめすべてのステークホルダーの信頼を得るために「経営の透明性」、「コーポレート・ガバナンス」、「コンプライアンス」、「環境経営」などの社会的側面や環境側面を重視しつつ、更なる飛躍・発展を目指してグローバルな戦略展開に挑戦しております。

当中間期におきましては、売上高は、当初の計画通り順調に推移いたしました。利益面につきましては、低粗利率である「いか」の一次加工品売上の増加や生産性の低い個包装商品の想定以上の売上増加による影響、また水産加工品を中心とした原料高、原油価格高騰に伴う包材高、企業間価格競争の激化による販売価格の低下等の要因により利益率が低下し、当初の業績見通しと乖離する結果となりました。

通期の業績見通しは、売上高312億円、営業利益10億70百万円、経常利益10億50百万円、当期純利益5億60百万円を見込んでおります。営業面においては、従来の水産・畜肉・酪農・農産・惣菜の5製品群にわたる新商品投入、価格競争力・市場優位性があり売上好調な畜肉加工品の更なる拡販に注力してまいります。またチルドおつまみ、小物菓子等の新しいカテゴリーにおけるシェアアップを図ってまいります。生産及び原資材調達面においては、コスト競争力の強化のため、国内から中国加工への生産シフトをより一層加速させてまいります。

なお、当期の配当金につきましては、1株につき年間配当10円(中間配当5円・期末配当5円)とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長兼CEO・COO

高橋 隆一

経営理念

株式会社なとりとそのグループは、自由闊達にして公正で節度ある企業活動により、食文化の創造と発展を通して、顧客満足・株主還元・社会貢献の実現を図り、社会的に価値ある企業として、この会社に係わるすべての人が誇りを持てる会社を目指します。

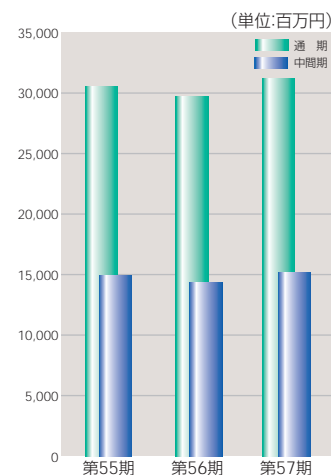
Contents

トップメッセージ・経営理念.....	1	クローズアップ・トピックス.....	7
財務ハイライト(連結).....	2	生産・営業・物流拠点.....	8
財務の状況.....	3	会社の概要・企業集団の状況.....	9
製品紹介.....	5	株式の状況.....	10

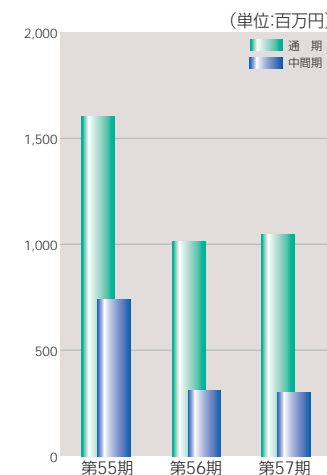
● 財務ハイライト(連結) ●

連結	第55期中間期 (平成14年9月期)	第56期中間期 (平成15年9月期)	第57期中間期 (平成16年9月期)	前事業年度 (平成16年3月期)
売上高(百万円)	14,981	14,356	15,224	29,733
経常利益(百万円)	741	311	300	1,013
中間(当期)純利益(百万円)	288	150	162	551
1株当たり中間(当期)純利益(円)	21.34	11.09	11.98	40.18
総資産(百万円)	24,171	24,061	23,794	24,991
株主資本(百万円)	10,589	11,090	11,577	11,505
株主資本比率(%)	43.8	46.1	48.7	46.0
1株当たり株主資本(円)	782.26	819.34	851.51	847.78

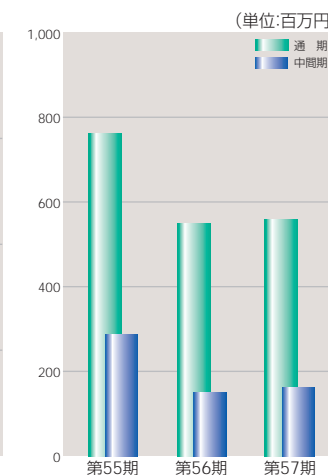
● 売上高



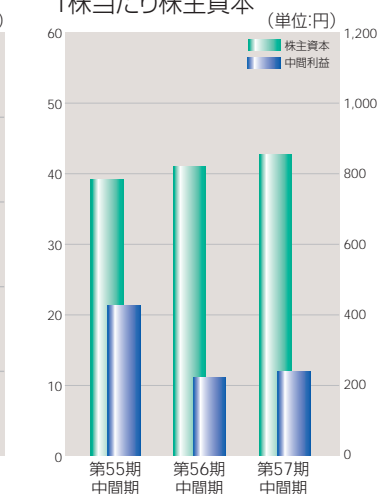
● 経常利益



● 中間(当期)純利益



● 1株当たり中間純利益
1株当たり株主資本



(注) 第57期通期は見直し



● 財務の状況 ●

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前中間連結 会計期間末 平成15年9月30日現在	当中間連結 会計期間末 平成16年9月30日現在	前連結会計 年度末 平成16年3月31日現在
資産の部			
流動資産	10,127	9,963	11,094
現金・預金	1,179	1,195	1,277
受取手形・売掛金	4,150	4,157	4,475
たな卸資産	4,449	4,242	5,041
繰延税金資産	199	190	152
その他	153	186	155
貸倒引当金	△5	△8	△7
固定資産	13,933	13,831	13,896
有形固定資産	12,343	12,081	12,050
無形固定資産	109	123	126
投資その他の資産	1,480	1,626	1,719
資産合計	24,061	23,794	24,991
負債の部			
流動負債	10,039	8,158	9,061
支払手形・買掛金	2,664	2,738	2,601
短期借入金	4,400	3,248	4,325
1年以内に返済予定の長期借入金	1,330	461	480
1年以内に償還予定の社債	—	100	100
未払法人税等	241	168	102
賞与引当金	377	376	282
その他	1,025	1,065	1,169
固定負債	2,771	3,898	4,264
社債	100	—	—
新株予約権付社債	—	1,454	1,480
長期借入金	1,430	1,228	1,449
繰延税金負債	280	353	350
役員退職慰労引当金	907	812	930
その他	54	50	53
負債合計	12,810	12,056	13,326
少数株主持分	159	160	159
資本の部			
資本合計	11,090	11,577	11,505
資本金	1,225	1,248	1,235
資本剰余金	1,540	1,563	1,550
利益剰余金	8,316	8,736	8,649
その他有価証券評価差額金	9	30	70
自己株式	△0	△1	△1
負債・少数株主持分・資本合計	24,061	23,794	24,991

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結 会計期間 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	当中間連結 会計期間 平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	前連結会計 年度 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
売上高	14,356	15,224	29,733
売上原価	9,561	10,352	19,712
売上総利益	4,794	4,871	10,021
販売費及び一般管理費	4,478	4,584	8,986
営業利益	315	287	1,034
営業外収益	46	55	111
営業外費用	49	41	132
経常利益	311	300	1,013
特別利益	—	—	21
特別損失	1	0	5
税金等調整前中間(当期)純利益	310	300	1,029
法人税、住民税及び事業税	236	147	461
法人税等調整額	△73	△11	15
少数株主利益	△2	2	0
中間(当期)純利益	150	162	551

中間連結剰余金計算書

(単位:百万円)

	前中間連結 会計期間末 平成15年9月30日現在	当中間連結 会計期間末 平成16年9月30日現在	前連結会計 年度末 平成16年3月31日現在
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高	1,540	1,550	1,540
資本剰余金増加高	—	13	10
資本剰余金減少高	—	—	—
資本剰余金中間期末(期末)残高	1,540	1,563	1,550
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高	8,244	8,649	8,244
利益剰余金増加高	150	162	551
利益剰余金減少高	78	75	146
利益剰余金中間期末(期末)残高	8,316	8,736	8,649

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結 会計期間 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	当中間連結 会計期間 平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	前連結会計 年度 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,273	1,464	997
投資活動によるキャッシュ・フロー	△500	△160	△613
財務活動によるキャッシュ・フロー	△916	△1,386	△423
現金及び現金同等物の減少額	△143	△82	△40
現金及び現金同等物期首残高	870	829	870
現金及び現金同等物中間期末(期末)残高	726	747	829

単体中間貸借対照表

(単位:百万円)

	前中間 会計期間末 平成15年9月30日現在	当中間 会計期間末 平成16年9月30日現在	前事業 年度末 平成16年3月31日現在
資産の部			
流動資産	9,419	9,050	10,126
現金・預金	725	834	796
受取手形・売掛金	3,899	3,817	4,208
たな卸資産	4,308	3,991	4,854
繰延税金資産	141	127	104
その他	347	284	168
貸倒引当金	△3	△6	△5
固定資産	10,944	10,949	11,223
有形固定資産	9,086	8,736	8,906
無形固定資産	104	118	121
投資その他の資産	1,753	2,094	2,195
資産合計	20,364	20,000	21,349
負債の部			
流動負債	8,602	6,561	7,665
支払手形・買掛金	2,607	2,491	2,461
短期借入金	3,470	2,318	3,395
1年以内に返済予定の長期借入金	1,150	325	325
1年以内に償還予定の社債	—	100	100
未払法人税等	215	132	82
賞与引当金	267	259	201
その他	892	934	1,099
固定負債	1,436	2,708	3,012
社債	100	—	—
新株予約権付社債	—	1,454	1,480
長期借入金	146	87	250
繰延税金負債	278	351	347
役員退職慰労引当金	901	805	924
その他	10	9	9
負債合計	10,039	9,269	10,677
資本の部			
資本合計	10,325	10,730	10,672
資本金	1,225	1,248	1,235
資本剰余金	1,540	1,563	1,550
利益剰余金	7,551	7,890	7,817
その他有価証券評価差額金	8	29	70
自己株式	△0	△1	△1
負債・資本合計	20,364	20,000	21,349

単体中間損益計算書

(単位:百万円)

	前中間 会計期間 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	当中間 会計期間 平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	前事業 年度 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
売上高	13,418	14,136	27,649
売上原価	9,163	9,946	18,899
売上総利益	4,255	4,189	8,750
販売費及び一般管理費	3,949	3,977	7,870
営業利益	305	211	879
営業外収益	84	96	184
営業外費用	46	39	127
経常利益	343	268	937
特別利益	—	—	13
特別損失	1	—	4
税引前中間(当期)純利益	341	268	946
法人税、住民税及び事業税	210	112	416
法人税等調整額	△51	8	13
中間(当期)純利益	183	148	517
前期繰越利益	142	157	142
中間配当額	—	—	67
中間(当期)未処分利益	326	305	592

Point 1 売上高

- **水産加工品** ソフトいかに燻製、茎わかめ、チーズかまぼこ、揚げ物商品、及び「いか」の一次加工品が堅調に推移し増収
- **畜肉加工品** サラミ類、ジャーキー類とも引き続き好調で増収
- **酪農加工品** チーズ類が微減
- **農産加工品** 梅製品、栗製品が伸び悩み
注力しております素材菓子、豆菓子が売上伸長に寄与
- **惣菜製品ほか** 中華惣菜を扱う子会社株式会社好好飲茶が増収
洋風惣菜を扱う子会社株式会社なとりデリカが増収

Point 2 販売費及び一般管理費

増収による増加と外形標準課税の導入により一部事業税を一般管理費で費用処理した結果、前年同期比2.4%増となっております。

Point 3 投資活動によるキャッシュ・フロー

当中間期には子会社である株式会社函館などの工場増設(約3億円)をおこないましたが、支払いの大部分は下期に発生いたします。

● 製品紹介 ●

惣菜製品他

ナイルさんの野菜カレー 味付焼き貝 徳得亭 焼鮭ほくし

農産加工製品

梅スッキリ種めさ ほし梅甘い 梅しっとり黒糖味
干し赤ぶどう くるみミックス 甘栗太郎

酪農加工製品

スティックチーズ鱈 チーズ鱈ベスト3 スモークチーズ カマンベールチーズ鱈 三角チーズ鱈



畜肉加工製品

ジャッキーカルパス ワイルドジャックビーフジャーキー ジャッキーBit スライスサラミ スティックビーフジャーキー おつまみベーコン おつまみフランクチリ味

水産加工製品

帆立貝柱燻製 ひとくちいか燻製 鮭とばスティック 一夜干風焼あたりめ ソフトいか燻製
カマンベールチーズ入かまぼこ 極辛やわらかいか天 おつまみ昆布 黒酢茎わかめ

小物

茎わかめ ビーフジャーキーチップス のしたら旨辛キムチ味 ベンシルカルパス

骨まで食べられる魚

さばの味噌煮 つぼだいの煮付け

■ 株主優待のご案内

毎期末3月31日現在、当社株式を100株以上保有のすべての株主の皆様に対して、上記5製品群にわたる商品から、よりすぐりの商品を贈呈いたしております。

● 100株以上1,000株未満 2,000円相当 ● 1,000株以上 3,000円相当 (平成16年実績)

● クローズアップ ●

研究開発体制の強化

食品総合ラボラトリー (R&Dセンター) による 開発型企業の志向

平成15年3月、食品総合ラボラトリーを新設、本格的に業務を開始しております。食品の安心・安全を確保するための最新鋭分析機を備え、差別化された商品の開発と市場投入に加え、マーケットリサーチや食文化の研究をおこなっております。



食品総合ラボラトリー

産学連携事業の推進

迫り来る少子高齢化社会への対応として、平成15年5月、早稲田大学社会システム工学研究所との連携による産学協同事業として、株式会社T.M.L (スリー・マインド・ラボラトリー) が設立され資本参加いたしました。同社は、「高齢者への安心食」を開発・生産・販売することを目的とし、特に現在、同社の低温スチーム加工技術を活用し開発した「骨まで食べられる魚」の医療・介護施設および量販店等への販売を開始いたしました。



「中食」(Home Meal Replacement) 市場への進出

変貌するライフスタイルへの対応として、当社の技術に低温スチーム加工技術を融合させ、従来にない商品開発を進め、中高齢者および介護マーケットを対象にした新事業分野、「中食」(HMR) 市場への進出を図っております。

● トピックス ●

安心・安全・品質管理

品質管理やクレームの絶滅には日頃より最も注力しており、本年8月には食品関連法令の遵守を基本方針とした「なとり品質保証憲章」を策定、グループ全体への浸透に努めております。またISO9001の認証取得を推進しており、埼玉工場、子会社であるメイホク食品株式会社、株式会社函館なとりのグループ主要3工場すべてでISO9001の認証を取得いたしております。引き続き子会社である株式会社全珍での認証取得を進めてまいります。既に主要3工場ではHACCPの認定を取得しており、HACCP及びISO基準の統合的運用に、既に取り組んでおりますトレーサビリティも加えて、今後も食品の安心・安全性の確保と品質管理の徹底に努めてまいります。

環境マネジメントシステム

ISO14001の認証を本社および埼玉工場にて取得しております。食品メーカーとしての事業活動を通じ「人と環境に優しい企業」を目指しており、並行して産業廃棄物の削減やCO₂排出量の削減等環境保全活動を推進しております。また、本社における環境報告書をホームページ上で既に公開しておりますが、現在、主力工場である埼玉工場を含めた2004年版環境報告書の作成を進めております。



環境報告書

http://www.natori.co.jp/kaisha/kankyo/env_2003/index.html

CSRへの取り組み

平成16年1月には株式会社東京証券取引所より「ディスクロージャー表彰」を、3月には産経新聞社、KFI株式会社共催による「誠実な企業賞 大賞」を受賞いたしました。

今後も株主はじめステークホルダーの皆様からご評価いただける社会的に価値ある企業を目指してまいります。

● 生産・営業・物流拠点 ●

(平成16年9月30日現在)

メイホク食品



全珍

埼玉ナッツ工場



埼玉ミート工場・埼玉チーズ工場



営業拠点

● 営業所全国38力所

連結子会社

● 国内11社

物流拠点

- 首都圏配送センター
埼玉県加須市大桑2丁目23番1
- 北日本配送センター
北海道札幌市東区19条東22丁目1番4号
- 東北配送センター
宮城県仙台市若林区卸町東2丁目2番7号
- 中部日本配送センター
愛知県名古屋市中川区柳森町803
- 関西配送センター
大阪府東大阪市本庄中1番地16
- 九州配送センター
福岡県大野城市御笠川4丁目7番16号

生産拠点

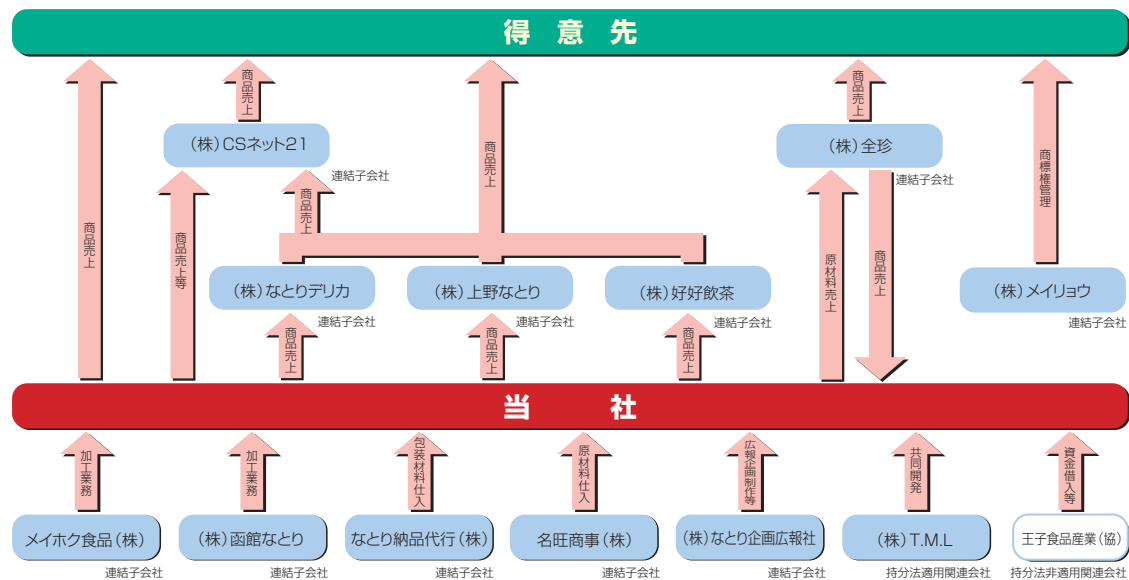
- (株) なとり埼玉ミート工場・埼玉チーズ工場
埼玉県久喜市清久町1番6号
- (株) なとり埼玉ナッツ工場
埼玉県久喜市清久町1番7号
- メイホク食品(株)
北海道亀田郡大野町字清水川1220番地1
- (株) 函館なとり
北海道亀田郡大野町字清水川142番地12
- (株) 全珍
広島県呉市広末広1丁目3番28号

● 会社の概要 ● (平成16年9月30日現在)

会社名 株式会社 なとり
 本社 東京都北区王子5丁目5番1号
 設立 昭和23年6月
 資本金 1,248,125,250円
 従業員数 600名(男子394名、女子206名)
 主要取引銀行 東京三菱銀行、りそな銀行、商工組合中央金庫、
 農林中央金庫、三井住友銀行、みずほ銀行

● 企業集団の状況 ●

当社の企業集団は、子会社11社、関連会社1社を連結対象会社として構成され、水産加工品、畜肉加工品、酪農加工品、農産加工品、惣菜品ほか、おつまみ食料品全般にわたる製造販売を主な内容として事業活動を展開しております。
 事業の系統図は次のとおりであります。なお、(株)T.M.Lは早稲田大学社会システム工学研究所との産学協同事業として平成15年5月8日に設立いたしました。



役員 (平成16年9月30日現在)

代表取締役社長 兼CEO・COO	名 取 小 一	取 小 一
取締役副社長 兼COO	名 取 三 郎	取 三 郎
取締役 専務執行役員	名 東 正 光	取 東 正 光
取締役 常務執行役員	名 小 嶋 利 光	取 小 嶋 利 光
取締役 常務執行役員	名 取 雄 一 郎	取 取 雄 一 郎
取締役 上席執行役員	名 北 見 弘 之	取 北 見 弘 之
取締役(社外)	名 岡 崎 正 憲	取 岡 崎 正 憲
取締役(社外)	名 大 藤 裕 康	取 大 藤 裕 康
常勤監査役	名 打 越 常 夫	取 打 越 常 夫
監査役(社外)	名 林 徹 一	取 林 徹 一
監査役(社外)	名 割 出 雄 一	取 割 出 雄 一
監査役(社外)	名 三 島 浩 光	取 三 島 浩 光
上席執行役員	名 井 上 裕 真	取 井 上 裕 真
上席執行役員	名 小 林 信 臣	取 小 林 信 臣
上席執行役員	名 出 島 雅 順	取 出 島 雅 順
上席執行役員	名 井 筒 石 上 順	取 井 筒 石 上 順
執行役員	名 相 澤 雅 英	取 相 澤 雅 英
執行役員	名 稻 川 英 幸	取 稻 川 英 幸
執行役員	名 永 井 邦 佳	取 永 井 邦 佳
執行役員	名 水 野 政 裕	取 水 野 政 裕
執行役員	名 山 形 正 一	取 山 形 正 一

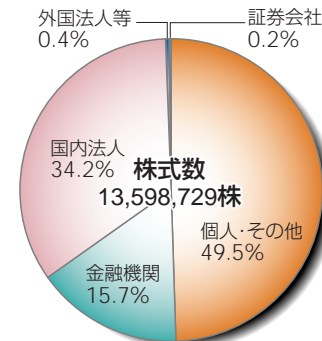
● 株式の状況 ●

(平成16年9月30日現在)

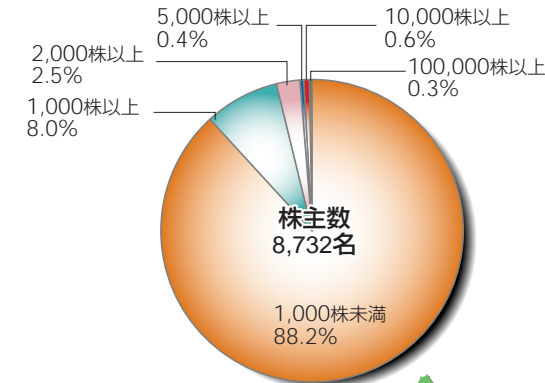
- 会社が発行する株式の総数 40,000,000株
- 発行済株式の総数 13,598,729株
- 当期末株主数 8,732名
- 大株主(上位10名)

株 主 名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社名旺エステート	2,547,000	18.73
名 取 小 一 有 限 会 社	1,008,180	7.41
名 取 三 郎 有 限 会 社	837,336	6.16
横 山 よ し 子	676,308	4.97
名 取 浪 男	672,684	4.95
なとり社員持株会	431,520	3.17
有限会社フジミ屋興産	349,460	2.57
なとり取引先持株会	313,796	2.31
株式会社東京三菱銀行	291,420	2.14
	264,000	1.94

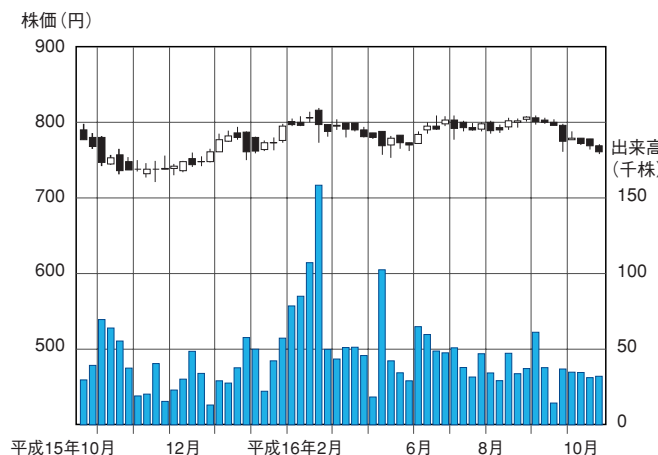
● 所有者別分布(株式数比率)



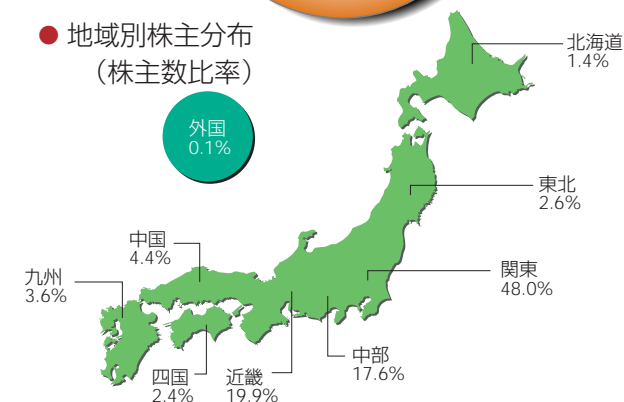
● 所有株式数別分布(株主数比率)



● 株価チャート(平成15年10月1日~平成16年9月末日)



● 地域別株主分布(株主数比率)



株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
配当金	3月31日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載または記録された株主(実質株主を含む)または登録質権者にお支払いいたします。
中間配当金	中間配当をおこなう場合は、9月30日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載または記録された株主(実質株主を含む)または登録質権者にお支払いいたします。
基準日	定時株主総会については3月31日その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告掲載新聞	日本経済新聞
1単元の株式数	100株
株式名義書換代理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所 (お問い合わせ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 東京03(3323)7111
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社本店および全国各支店

当社は、貸借対照表(および損益計算書)を決算公告に代えて、ホームページに掲載いたしております。

ホームページアドレスは次のとおりです。

<http://www.natori.co.jp/kessan/index.html>



〒114-8611 東京都北区王子5丁目5番1号 TEL03(5390)8111



この事業報告書は、エコマーク認定の古紙配合率100%の再生紙を使用し、アロマフリータイプ大豆油インキで印刷されています。